令和5年度 施策事前評価シート

施策責任者所属	企画財政課		電話番号	直通	989-5504
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいずみ				
政策	快適で便利なまちの実現		施策分野	公共交通	
施策分野の総事業費	前年度決算額	53,040 千円	今年度予算額	86,092 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	単位	進捗評価
1	公共交通が充実していると思う町民の割合	目標値		18	22	26	28	30	%	A
		実績値	―	27.6	33.0					
2	コミュニティ交通の利用者数	目標値		42,500	45,000	47,500	49,000	50,000	人	C
		実績値	39,098	30,767	32,692					
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								

総合評価	C：進捗が思わしくない

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	・コミュニティバス（南北線、循環線A、循環線B）の運行、民間乗合バス事業者への支援、デマンド乗合タクシー（ももタク）の運行、マイナンバーカードを活用したタクシー利用助成事業の実施、バスロケーションシステムの導入 ・コミュニティバスの路線が長く、定時性の確保ができていない便もあることから、令和５年１月よりコミュニティバスの路線再編を実施した。
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・住民意識調査において、公共交通を利用する方の約３割が公共交通が充実していないと回答。また、住民意識調査の設問が、令和２年度は「全員」が対象だったことに対し、令和３年度は調査対象のうち公共交通を「利用している」または「ときどき利用している」と回答した方に限定して回答を求めた。 ・バスが運行されていない地域の住民や、身体的な理由でバス停までの移動、バス停で待つことが困難な高齢者等の移動支援策が求められている。 ・コミュニティバスの路線再編の周知不足や新型コロナウイルスによる利用者の生活様式が変化している。 ・マイナンバーカードを活用したタクシー助成の拡大をする上で、タクシー・バス利用券の代替えとなるバス乗車の支援を検討する必要がある。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・コミュニティバスの実証運行期間中は、運行情報データに基づくモニタリングを実施し、必要に応じてルートやダイヤ等の運行内容の変更（サービス水準の改善）を検討する。また、乗車促進のためにも、定期券や回数券などを導入する。 ・マイナンバーカードを活用したタクシー利用助成事業の拡充として、現在紙利用券で対応している障がい者や要外出支援者向けの支援制度の統合可否について検討し、統合が可能な場合は令和６年度からの運用開始を目指す。また、電話予約を不要とするための端末追加調達、利用者が乗車時以外にも残り利用回数が分かる方法を検討する。 ・コロナ禍で中止・縮小していた各種イベント等が今後は開催されるため、イベントの開催告知に公共交通の利用を働きかけるとともに、イベントへの出展を行い、広く町民等への公共交通の利用をアピールする。（ながいずみ観光交流協会と連携） ・バス利用支援の施策として「交通系ＩＣカードの利活用」を検討する。